

# 私学助成署名推進ニュース

全国私学助成をすすめる会  
 (事務局：全国私立学校教職員組合)  
 No.13 2021年10月1日(金)

## 「全国私学父母懇・私学助成をすすめる会交流集会 オンライン大会」に積極的に参加しよう!!

全国で秋の私学助成署名のとりくみがスタートしています。スタート集会、学習会などのとりくみもすすめられています。こうした中、「第51回 SAGA うれしのオンライン全私研」時の「全国父母懇代表者会議」及び9月4日(土)全国世話人県会議で「全国私学父母懇・私学助成をすすめる会交流集会」のオンライン大会としての開催が確認されました。「全国私学助成をすすめる会」事務局を務める全国私教連でも参加を増やすことが方針として決定されています。

この集会は、私学に通う子どもたちの未来と教育環境の拡充を願い、その実現に向けて手をとりあって行動する全国の父母、教職員が一堂に会し、私学をめぐる情勢を共有し、全国のとりくみを学び、ともに秋の運動の成功を期す場となる集会です。2020年は北海道での開催をめざし、現地のすすめる会が奔走してくれましたが、コロナ禍によって中止を余儀なくされました。こうした中、全国のつながりを知らない父母・教職員を生まないように、それ以上に父母の「全国と顔を合わせたい・つながりたい」という強い要求が原動力となり、「オンラインによる」という制限付きながら、今年は開催する運びとなりました。

## まだ間に合います!! 参加を旺盛に呼びかけて多数の参加を組織しましょう!!

本日10月1日が第1次の参加申し込み締め切り日でした。けれども、まだまだ間に合います。オンライン大会の事務局では、申し込みをまだ受け付けます。諦めないで、9月10日に発信した「案内」添付の「参加組織目標」を上回る数をめざして参加を誘ってください。

ご参加を心よりお待ちしております。

### 集会要項・参加申し込み方法 参加申し込み書 等は

**fubokon.com** へ アクセスしてください

全国私学父母懇談会・私学助成をすすめる会交流集会2021オンライン大会



日時：2021年10/10日 14:00~17:00  
 (30分前から入室可です)

参加方法：Zoomにて参加 **参加費無料**

※ミーティングID・パスワードを事前にお知らせいたします

プログラム 14:00~14:50 全体会 (基調報告・各県組織紹介)

15:00~16:30 分散会 (レポートとグループ討論)

分散会テーマ (テーマごとに複数の分散会を設定します)

- ①「私学助成制度・運動を学ぶ」
- ②「父母懇運動を知る・活動を交流する」
- ③「子育てに関わって学び・交流する」

※分散会の希望は「参加申込」された方に事務局より別途お尋ねします

16:40~17:00 まとめの全体集会

企画・運営 全国父母懇交流集会実行委員会

「全国私学父母懇・私学助成をすすめる会交流集会2021オンライン」実行委員会  
 構成組織 全国私学父母懇私学助成をすすめる会連絡会 世話人県  
 全国私学助成をすすめる会 事務局 (全国私教連)



大会内容や分散会レポートの詳細は <https://fubokon.com> にてお知らせします

●お問い合わせ先 ● 全国父母懇交流集会実行委員会事務局 (全国私教連)  
 Tel 03(3264)8011 Fax 03(3264)8015 E-Mail info2021@fubokon.com

## 私学助成運動 各地で始動!!

秋の私学助成運動が各地でスタートしています。埼玉では9月25日に署名のスタート集会を開催しました。東京も9月第2週に開催しています。岩手では、9月21日(火)に概算要求期の県知事向け要請ハガキの提出行動を2校のPTA 会長副会長とともに実施しています。「年収590万円の崖」を緩和したとはいえ、年収620万円までのほんのわずかな上乗せでした。それを拡充させるための要請ハガキ。5年連続で1万6000通を超えて集約しています。現役のPTA 役員の前で、県も要求をていねいに聞き取りました。

### 山形：幸先好いスタート 9月23日の機関会議報告で4万筆の集約 学習会が大きな力に!!

山形でも、9月15日に知事宛ハガキの提出行動を実施し、6676通を知事に直接手渡しました。知事との会見を取り持ってくださいる県議が、今年も同席しました。そこで県議は「910万円の所得制限を取っ払わないと、『教育の無償化』という公約違反になりますよ」と知事へクギを指す発言をしてくださいました。

その一週間後の山形県組織の機関会議で、各校の9月末集約数が確認されました。まだ、学園によって取り組み度合いに差がある時期ですが、今年はこの日に4万筆の集約が確認されました。昨年、署名数が県内で最低数になってしまった学園で、今年の署名運動担当者が奮起。教職員対象の学習会を数回開催し、さらにそこへの参加ができなかった教員に「補習」を実施しました。その結果、各クラスの回収数が昨年よりも飛躍的に増加し、この時期で昨年を上回る集約数に至っています。署名の必要性を理解し生徒への呼びかけを強める教員が増加したことが理由です。

さらに、学内配布が認められていない学園の代表者が、それでも他校と比較してあまりにも自学園の集約数が少ないことに奮起。教職員に働きかけ集約数を、これもまた昨年を大きく上回る状況にしていっています。

## 学習会、他校とのとりくみ交流を積極的に開催し、署名運動の主体者を広げましょう